

「碧樹館プログラム」第21期塾生を募集

～産学官連携で道なき道を切り開くリーダーを育成～

建塾20周年、638人が卒業し『人財の森』着々

2004年4月に九州の産学官界の連携で設立され、次世代リーダーを育成する「碧樹館プログラム」などを運営する特定非営利活動法人九州・アジア経営塾（通称KAIL）が今年4月、建塾20周年を迎える。

はじめ講師と塾生が互いに切磋琢磨し学びながら、そこで得られた気付きを塾生自身実践し、「自らの基軸」を確立していく戦略的リーダー養成が特徴だ。

また、卒業後も同窓会組織「碧樹会」を通してタテ・ヨコ・

少子高齢化やグローバル化の進展などで社会・経済構造の大きな転換を迫られる中、ここ九州に欧米型ビジネススクールとは一線を画し、アジア型の経営哲学に立脚した「平

場を提供し、相互研鑽の継続によって社会へ「ギフトを返す」「人財の森」になることを目指している。これまでに卒業した638人のうち所属企業・団体のトップ就任者は6

成の松下村塾をつくらう」という熱い想いで設立された同塾。碧樹館プログラムでは各界の最前線で活躍する著名な講師を招き、徹底した討論を

KAILでは碧樹館プログラムの第21期生の募集を2月1日から開始する。対象は組織を動かす変革できる36～50歳の経営ミドルや役員、事業承継者などを想定。各モジュール（学期）の「集合学習」と、その前後での「反すう学習」、塾生自ら課題を選定し変革のための処方箋を描く「プロジェクト

九州からアジア、世界を変える人材輩出へ

学習」の3つを柱に展開する。第21期は6月下旬に開講し、

来年4月下旬に修了予定。原則隔週の土曜・日曜日にセッションを行い、その受講時間は230

時間超におよぶ。定員は36人。応募締め切りは4月上旬を予定。志望動機書や面談をもとに総合的に選考する。

KAILに設立準備段階から

橋田 紘一
理事長兼塾長



旧福岡シティ銀行頭取を経て、KAIL初代塾長を務めた故四島司氏（写真左）は塾生に「殻を破れ」と唱え続けた

携わり、2014年に現職に就任した橋田塾長は、「社会環境が大きく変化する中、既存の価値観にとらわれない大胆な知恵と、道なき道を切り開く使命感となつていく。社会課題の解決が経営に必須となる現在、建塾以来、世のため人のために利他の心を持った人」を育成してきたKAILは、まさに中身の濃い学びの場だと自認する。今春の建塾20周年に際してKAIL自体も植樹など社会貢献活動に取り組み中、九州からアジア、そして世界を変えていくという志尚き人の入塾をお待ちしている」と話している。

KAIL

THE KYUSHU-ASIA INSTITUTE OF LEADERSHIP

特定非営利活動法人 九州・アジア経営塾

碧樹館プログラム
第21期
2024年6月開講

募集要項はコチラ!